

2025 年度 国民スポーツ大会柔道競技 少年の部 最終選考会

1. 主催 (一社)愛知県柔道連盟

2. 後援 (公財)愛知県スポーツ協会

3. 日時 令和 7 年 6 月 28 日(土) 受付 9:00～
計量 9:00～9:30 ※計量は+1kg まで可

4. 会場 青山記念武道館 大道場

5. 大会役員

(1) 会 長 河 原 月 夫

(2) 副会長 金 子 恵 一 大 竹 有 二 河 合 孝

(3) 競 技

① 強 化 部 長 松 本 宣 子

② 強 化 委 員 長 石 田 輝 也

③ 強 化 副 委 員 長 田 畠 之 貴

④ 強 化 委 員

山 本 典 実 芳 森 信 吾 土 川 一 克 伊 東 朝 樹 高 濱 克 有

三 宅 恵 介 大 瀧 徹 士

⑤ 審 判 長 野 本 大 道

⑥ 審 判 員(順不同)

高 島 春 夫 中 島 健 志 前 保 幸 諫 山 千 絵 八 重 樫 祐 太

徳 田 大 輔 窪 田 智 之 斉 野 謙 二 倉 内 一 輝 市 川 大 訓

大 瀧 徹 士 斉 藤 一 郎 松 下 泰 夫 伊 藤 大 野 田 大 介

武 田 和 樹 村 崎 聖 岩 本 直 樹

6. 試合方法

(1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。ただし、以下の申し合わせ事項を適用する。

① 通称「逆背負投」は指導とする。

② 立姿勢、寝姿勢ともに、相手の柔道衣の袖口または裾口に指を入れる行為は指導とする。

③ ダイビング、ユージングザヘッド、ヘッドディフェンスは反則負とする。

(2) 試合時間はすべて 4 分間とする。

(3) 試合はトーナメント戦で行い、3位決定戦は実施しない。

(4) 勝敗の決定は以下の通りに行う。

「一本」「技あり」「有効」「僅差」により勝者を決定する。「僅差」とは、双方の選手間に技によるスコアが

ない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合には少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。技のスコアの差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合はGSを適用する。GS では、技のスコアを先に得た方が勝者となる。あるいは、技のスコアが同等の状態で、指導が多くなった方が敗者となる。

(5) 呼び出しても選手が現れない場合、場内放送をかけて 30 秒を過ぎても試合場に現れない場合は「棄権」とする。

(6) 監督、コーチは試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に指示を与えることができる。試合続行中は指示を与えることはできない。

7. 柔道衣コントロール

(1) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。

① 上衣・下穿

(ア) 外枠が赤色の IJF ラベルがついているもの

(イ) 赤色の IJF ラベルが ついていない場合

「JU0000」と赤字で表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの

② 帯

(ア) IJF ラベルがついているもの外枠の色は赤・青どちらでも可

(イ) IJF ラベルがついていない場合

「JU0000」と表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの 赤・黒どちらでも可

(2) 柔道衣は白色のみを使用し、背部に所属名と氏名の記載された規定のサイズのゼッケンが縫い付けてあること。

8. 会場

正面本部		
第 3 試合場	第 2 試合場	第 1 試合場
男子 90kg 級 男子無差別 5～8	男子 73kg 級 男子無差別 1～4	男子 60kg 級 男子 100kg 級

※ 上記の会場で準決勝まで行う。

※ 全階級、決勝戦のみ中央の第 2 試合場で行う。

9. その他

国民スポーツ大会柔道競技少年男子の部の選手選考については、この選考会の結果を踏まえて、最終的に強化委員会にて決定する。